

地域・防災だより

第60号 2023年2月
天嶽院下自治会・自主防災会
(作成協力)防災協力グループ

◎年末の町内一斉清掃実施(12月11日)

村岡地区恒例の年末一斉清掃が当町内でも行われました。当日は朝9時を過ぎると、各所で自宅前の道路を家人が清掃していました。また両公園やオリンピック前のバイパス道路沿いの当町内側道では、夫々ご近況の皆さんで協力し、清掃作業をしていました。この村岡地区一斉清掃は、毎年夏季と年末の2回実施しているものです。



◎静寂な天嶽院の元旦初詣

晴天に恵まれた2023年元旦早朝、天嶽院の境内は静寂に包まれていました。今年も村岡元旦歩行大会は中止になり、時折家族連れが訪れる静かな初詣となりました。年末もコロナ感染の拡大が続き、ウクライナ情勢も先が見えない中、新しい年を迎えました。今年こそコロナ禍も世界の情勢も落ち着くよう祈願する、初詣でした。



◎真冬の町内防犯パトロール状況(1月14日)

真冬の夜間、自治会の防犯防災役員とOB・ボランティア隊員(計28名・本間隊長)が、毎月第2・第4土曜に、拍子木を叩き「火の用〜心!!」「戸締り用〜心!!」と呼掛けながら町内を巡回し、地域の安心・安全に努めています。防犯パトロール隊では、随時ボランティア参加を歓迎(原則:毎月第2・第4土曜、18時、御幣下公園集合)しています。



◎藤沢市「地域防災活動推進大会」に参加(1月29日)

今年の大会は、1月29日(日)藤沢市本町のFプレイスで行なわれ、自治会から大森会長ほか関係役員など計3名が参加しました。

第1部では、(1)藤沢市防災組織連絡協議会の事業報告、(2)地域防災活動事例発表(片瀬地区自主防災協議会、太平台明和会自主防災会)があり、第2部は防災講演会で、アジア防災センター理事長・小川雄二郎氏による「地域の防災力強化のために何をすべきか共に考える」を演題に講演され、①街歩きによる災害弱所の調査、②災害弱所強化策の働き掛け・協力(個人・組織・市)、③個別避難計画(タイムライン)の作成(住民、要支援者は防災・民生委員協力)などが強調されました。



防災キャンペーン「火災報知器の設置はお済みですか？」 平成23年から住宅に設置が義務化され、火災発生時に家族の身を守る装置の一つです。まだお済みでない住宅は、早急に設置されることをお勧めします。藤沢市の設置率は令和4年現在で84%です。設置の効果として、死亡数と焼損面積は半減、損害額は約4割減になることが、藤沢市消防局から報告されています。大切な家族の命と家財を守るため、私たちの地域でも更なる普及が望まれます。既に設置済みの場合は、毎年動作テストによる電池等の不具合の点検【順次、各端末で、ボタンを押すかヒモを引く】を忘れずにお願いします。